



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



思いやり愛をこめて献血を!

献血にご協力いただいた方へ
記念品を進呈いたします。

①～⑦に該当する方は献血をご遠慮ください。

- ①3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ②4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④エイズ検査が目的の方

*エイズウイルス(HIV)検査については、通知していません

⑤6ヵ月以内に以下に該当する方

- (a)不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
- (b)男性どうしの性的接触があった
- (c)麻薬、覚せい剤を使用した
- (d)上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった

⑥今までに以下に該当する方

- (a)輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
- (b)ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
- (c)梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
- (d)エイズ(HIV)検査の結果が陽性だった

⑦新型コロナウイルス感染症について以下に該当する方

- (a)感染症と診断または検査で陽性になり、症状軽快から(無症状の場合は検体採取日から)2週間以内
 - (b)発熱や呼吸器の症状を含む疑われる症状の出現日から2週間以内及び症状軽快から3日以内
- *これらの基準以外にも、医師の判断で献血をお休みいただくことがあります。



献血の日です。

400mL
献血会場

1月17日(土)

会場

イオンモール扶桑

専門店1階 ドトールコーヒー前

午前の部 10:00 ~ 12:00

午後の部 13:30 ~ 16:00

主催 丹羽ライオンズクラブ

400mL献血にご協力をお願いします

400mL献血 採血基準

年齢：男性17～69歳・女性18～69歳 体重：男女とも50kg以上

【服薬について】

血圧・コレステロール・痛風・アレルギーのお薬は服用していても献血OKです！

【血液検査サービス】

献血できた方に、血液型・コレステロール・肝機能などの検査結果をお知らせします。
日々の健康増進にお役立てください♪

【献血カードアプリはじめました】

事前予約・事前問診ができます！

予約de献血！

ラブラットのアプリからカンタン予約！



愛知県赤十字血液センター

自然保護のため再生紙を使用しています。

献血の基準について

健康な方ならば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし、体調をくずしていたり、健康状態の良くない時に献血をすると健康を損ねる場合もあります。献血者の健康を守るためにさまざまな基準を設けています。

(献血基準)

項目	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	400mL	200mL	600mL以下 (循環血液体量の12%)	
年齢	男性:17~69歳※1 女性:18~69歳※1	16~69歳※1	18~69歳※1	男性:18~69歳※1 女性:18~54歳
体重	男女とも50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上		
最高血圧		90mmHg以上 180mmHg未満		
最低血圧		50mmHg以上 110mmHg未満		
脈拍		40回/分以上 100回/分以下		
体温		37.5°C未満		
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球数が標準値にある) (女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/ μ L以上
1年※2に献血できる回数 (1年は52週として計算)	男性:3回以内 女性:2回以内	男性:6回以内 女性:4回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

(献血の間隔)

前回の献血	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血*
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます			
400mL献血	男性は12週間後、女性は16週間後の 同じ曜日から献血できます	男女とも8週間後の同じ曜日から 献血できます		
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			
血小板成分献血				

*血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血Q & A

献血は誰でもできるの？

A. 献血者の健康面の安全を確保するため、また、輸血を受ける方の安全を守るために、献血を行っていただけるかの問診を行います。献血基準の主なものは、左図のとおりです。

また、輸血を受ける方の安全を守るため、HIV(エイズの原因となるウイルス)感染が疑われる方、輸血や臓器移植を受けた方、一定の期間に英国などへの海外滞在歴がある方等については問診で確認し、献血をご遠慮いただいています。

献血の際に、病気がうつることはありませんか？

A. 衛生環境は厳重に管理しているため、心配ありません。

献血をする時に使われる針や血液のバッグなどは、献血者一人ごとに新しいものと交換されますので、ほかの献血者から肝炎ウイルスやHIVなどがうつる心配は絶対にありません。

初めての献血ですが、400mL献血でも大丈夫ですか？

A. 献血前に医師が問診により健康状態を伺い、血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を測定して、採血基準に適合するかどうかを判断しますので、ご安心ください。

ちなみに、人間の血液量は一般的に男性で体重の約8%、女性で体重の約7%といわれており、例えば、体重50kgの方であれば、男性は約4,000mL、女性は約3,500mL血液が流れています。

医学的にみて全血液量の15%以内が失われても問題がないことが報告されていますので、男性600mL、女性525mLまでの献血は問題ないことになります。

医療の現場では、どれくらい400mL献血の血液製剤を必要としているのでしょうか？

A. 全国の医療機関への赤血球製剤の供給は、97%以上が400mL献血由来の血液製剤となっております。



愛知県赤十字血液センターのホームページはこちら！

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>

